

平成 28 年度

**教育に関する事務の管理及び執行
状況の点検・評価に関する報告書**

(平成 27 年度事業分)

常陸大宮市教育委員会

目 次

1	点検評価の概要	
(1)	趣旨	1
(2)	点検及び評価の対象	1
(3)	点検及び評価の方法	1
(4)	平成27年度に教育委員会が実施した主な事務事業 の点検及び評価結果	2
2	教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員の選任状況	3
(2)	教育委員会会議の開催状況	3
(3)	会議及び研修会等への参加状況	4
(4)	総合教育会議の開催状況	4
(5)	その他	4
3	個別事務事業（平成27年度事業）の点検評価結果	5
(1)	常陸大宮っ子ふるさと検定事業	6
(2)	フューチャースクール推進事業（小学校）	7
(3)	フューチャースクール推進事業（中学校）	8
(4)	西ノ内和紙PR事業（小中学校卒業証書）	9
(5)	家庭教育学級事業	10
(6)	学校体育施設開放運営事業	11
(7)	文化財保護事業	12
(8)	視聴覚ライブラリー運営事業（図書情報館）	13
4	常陸大宮市教育行政点検評価委員の総合的所見	14

1 点検評価の概要

(1) 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の規定により、教育行政の責任体制の明確化を図るため、教育長に委任した事務も含めて、その権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価を行い、公表することが義務付けられています。これに基づき、市教育委員会では、より効果的な教育行政の推進を図るべく、平成27年度の教育委員会活動状況及び実施した事務事業について、教育に関し学識経験を有する外部委員の意見を徴し、点検及び評価を行い、その結果を報告書としました。

(2) 点検及び評価の対象

平成28年度に実施する点検評価対象事業は、常陸大宮市教育振興基本計画（平成25年度～平成29年度）の基本施策として実施する事業、常陸大宮市総合計画（実施計画）における平成27年度重点事業及びその他点検評価が必要と認める事業から8事業を選定いたしました。

(3) 点検及び評価の方法

教育委員会が平成27年度に実施した事務事業を「教育委員会の活動」、
「教育委員会が行った事務事業（点検評価対象8事業）」の二つに大別し、点検評価内容の客観性を確保するため、常陸大宮市教育行政点検評価委員規程（平成21年教委訓令第11号）に基づき委嘱した外部委員から事業の点検評価を受け、事業評価に対する意見を求めるとともに市の教育に関する事務の管理、執行状況の点検評価に関する所見を求めました。

① 委員会開催日

- 第1回 平成28年10月 5日（水）
行政点検評価対象事業の説明及び事業の選定
- 第2回 平成28年11月24日（木）
対象事業の点検評価実施、委員の意見集約

② 教育行政点検評価委員（順不同）

- ・望月 厚志 氏（茨城大学教育学部教授）
- ・新家 洋一 氏（元茨城県職員）
- ・武藤 賢治 氏（元茨城県職員）

（４）平成２７年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検及び評価結果

内部評価			委員による点検評価		
【①事業執行状況】					
	事業数	比率			
A 必要性・ 効果は高い	8	100.0			
B 必要性・ 効果はある	—	—			
C 必要性・ 効果はない	—	—			
【②今後の方針】					
	事業数	比率	【評価結果】		
廃止・休止	—	—	廃止・休止		
縮小	—	—	縮小		
見直し	—	—	見直し		
現行どおり	5	62.5	現行どおり		
拡充	3	37.5	拡充		

※参考：評価結果の考え方

廃止・休止	事業を実施する必要がなくなったもの 別の事業に置き換えていけるもの 事業が終了したもの
縮小	事業内容の見直しを行い縮小が必要なもの
見直し	事業内容の見直しが必要なもの
現行どおり	現状の予算等で事業効果が得られるもの
拡充	事業費を増やすことで事業効果が高まるもの

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

○ 教育長		
教育長	上久保 洋 一	任 期 H23.12.24 ～ H27.12.24
新教育長		任 期 H27.12.25 ～ H30.12.24
○ 委 員		
委 員	星 野 幸 子	任 期 H25. 2. 23 ～ H29. 2. 22 (委員長 H26.10.21 ～ H27.12.24)
委 員	諸 澤 信 子	任 期 H25.10.20 ～ H29.10.19 (委員長職務代理者 H26.10.21～H27.12.24)
委 員	茅 根 正 憲	任 期 H25.10.20 ～ H27.12.24
委 員	内 田 寛	任 期 H27.12.25 ～ H31.12.24

(2) 教育委員会会議の開催状況

月 日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
H27年 4月27日	定例会	1	—	8	—
5月25日	定例会	9	—	7	—
6月25日	定例会	1	—	6	—
7月28日	定例会	3	—	4	—
8月25日	定例会	1	—	2	—
9月25日	定例会	—	1	3	1
10月27日	定例会	2	2	6	—
11月25日	定例会	2	1	4	—
12月25日	定例会	1	—	4	—
H28年 1月25日	定例会	1	—	3	—
2月25日	定例会	1	—	5	—
3月16日	臨時会	1	—	—	—
3月28日	定例会	7	—	7	—
合 計					
定例会 (1 2 回)		3 0	4	5 9	1
臨時会 (1 回)		1	—	—	—

(3) 会議及び研修会等への参加状況

- ・平成27年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
- ・平成27年度茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会
- ・平成27年度市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・平成27年度茨城県市町村教育長協議会夏期・冬期研修会

(4) 総合教育会議の開催状況

会議日	件名	参加者
第1回 H27年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議の運営に関する要綱(案)について ・常陸大宮市教育大綱の策定について ・その他 	教育長, 教育委員
第2回 H27年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・常陸大宮市教育大綱(素案)について ・その他 	教育長, 教育委員
第3回 H28年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・常陸大宮市教育大綱(案)について ・その他 	教育長, 教育委員

(5) その他

- ・学校訪問等(幼稚園3園, 小学校11校, 中学校5校)

月日	訪問先
H27年7月7日	第二中学校, 村田小学校, 上野小学校, 大宮西小学校, 大宮小学校
7月10日	大宮中学校, おがわ幼稚園, 明峰中学校, 御前山小学校, 御前山中学校
10月6日	大賀小学校, 大宮幼稚園, 山方南小学校, 山方小学校, 山方中学校
10月7日	大宮北小学校, 緒川小学校, 美和小学校, 美和幼稚園

- ・各幼稚園入園式, 卒園式
- ・各小中学校入学式, 卒業式
- ・各幼稚園運動会・各小学校運動会, 各中学校体育祭
- ・常陸大宮市教育振興大会
- ・常陸大宮市賀詞交歓会, 成人式, 駅伝大会, クロスカンントリー大会
- ・その他各種事業への参加

3 個別事務事業（平成27年度事業）の点検評価結果

事業番号	事務事業名	所管部署	内部評価	点検評価
1	常陸大宮っ子ふるさと検定事業	教育総務課	拡充	拡充
2	フューチャースクール推進事業（小学校）	学校教育課	拡充	拡充
3	フューチャースクール推進事業（中学校）	学校教育課	拡充	拡充
4	西ノ内和紙PR事業（小中学校卒業証書）	学校教育課	現行どおり	現行どおり
5	家庭教育学級事業	生涯学習課	現行どおり	拡充
6	学校体育施設開放運営事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
7	文化財保護事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
8	視聴覚ライブラリー運営事業（図書情報館）	生涯学習課	現行どおり	現行どおり

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	1	部課局名	教育総務課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	常陸大宮っ子ふるさと検定事業		
事業の目的	ふるさと検定のための基礎情報を広く市民等から公募することにより、市民の方々の魅力的な背景を有する様々な情報を収集し、設問を作成していく過程の中から、常陸大宮市の再発見、魅力の再認識をしてもらうことも「郷育立市構想」の一環として重要な目的の一つと考えられる。このため、ふるさと検定の基礎となる情報、設問の公募を実施し、問題集を作成したので今後活用を図る。		
事業概要	ふるさと検定問題集を見ていただき、常陸大宮市の再発見、魅力の再認識をしてもらう。 (事業内容) 問題集を有効に活用する。		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】郷土を知り、郷土に誇りと愛着を持つことが、「定住」ひいては「まちづくり」につながるものと考えられ評価すべき事業で拡充すべきものと判断します。</p> <p>B委員:【拡充】常陸大宮市が「郷育立市宣言」を行い、子どもたちに郷土を学ばせていくことは、とても素晴らしいことです。その手段として「常陸大宮市ふるさと検定」を活用して子どもたちは学習する、大人たちは故郷の良さを再認識する、今後益々この事業を拡充してほしいと思います。</p> <p>C委員:【拡充】「郷育立市」を目指し、郷土・地域に興味や関心を持ってもらう上で、重要な役割を果たす事業と考えます。</p>	
	主な意見	<p>A委員:「ひたまるの知恵袋」の積極的な活用を図るとともに、定期的に段階別のふるさと検定などを実施し盛り上げていただきたい。また、「ひたまるの知恵袋」の第2編の刊行を望みます。</p> <p>B委員:国際教育の原点は郷土教育です。英語が話せても、自分の生まれ故郷の自慢ができなくては、国際人として失格です。小中学生の内に、自分の足で史跡名勝、逸話の里などを見て回れるよう、学校および社会教育で取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>C委員:ふるさと検定の問題集を継続して編集・発行することも必要と考えるが、検定結果・参加者のその後の活用方法も検討することも課題である。全国の様々な地域で検定等が行われているが、検定後のことを考えている地域はほとんどないという状況である。検定の意味付けを明確にする必要がある。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	2	部課局名	学校教育課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	フューチャースクール推進事業(小学校)		
事業の目的	本事業では、無線LAN環境を整備することにより、高速情報回線に接続できる環境を整えるほか、持ち運び可能なタブレット型PCをPC教室のPCとして計画的に導入することにより、学校教育活動全般においてICTの活用を容易にし、学習活動の様々な場面でPCを効果的に活用し、児童の主体性や関心・意欲、知識・理解を高める。		
事業概要	<p>普通教室でICTを活用出来る環境を構築することで、21世紀にふさわしい教育環境を整え、児童の主体的に学習する「新たな学び」の実現を図る。</p> <p>(事業内容) 既存PC教室に設置されている、学校サーバー、プリンター、複合型スキャナ等の基本機能は現状と同じく整備する。 既存PC教室に設置されているPCを、キーボード脱着式タブレット型PCに変更し、各普通教室でタブレット型PCが活用できるよう、学校全体で無線LANが使える環境を整備する。普通教室等において授業に活用できる授業支援ソフト(ICT支援員付)を導入することで、導入後に教員がICTを授業に有効に活用できる環境を構築する。 導入については、現在のPC教室のリース契約が終了する学校から順次導入していき、契約は5年間のリース契約とする。</p>		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】ICTは社会の中で不可欠なツールとなっており、この利活用によって学科に対する関心、興味を持たせることができ意欲も向上するものと判断され「拡充」すべきものと考えます。</p> <p>B委員:【拡充】教育環境を整えることは重要です。ペーパーレス時代の到来もまもなくのことでしょう。地方交付税不交付団体市町村の教育設備は、異次元の世界です。一步でもそれに近づきたいものです。是非拡充すべきです。</p> <p>C委員:【拡充】学校のいかなる場所においてもコンピューター等が使用できる環境を整えることは、子どもたちの情報処理・活用能力の育成上必要なことである。</p>	
	主な意見	<p>A委員:非常に身近で手軽に活用でき、過度に依存する恐れもあることから、教職員(指導者)には安全で効果的な利活用方策の研究が求められます。</p> <p>B委員:教育環境整備とともに、コミュニケーションの充実強化も図るべきです。子どもたちはもちろんのこと、教員同士の情報共有強化も喫緊の課題です。</p> <p>C委員:ICT機器の使用によってリアリティのある授業展開を図ることができ、より魅力的な授業・学習が展開されると予想される。教科別の授業だけでなく、「キャリア教育」を行う上でも効果が期待できる。また、一方で、指導側の能力を高めていく必要がある。そのために、教職員対象とした研修の強化を望みたい。その場合に、使用機器の保守管理の能力を高めてほしい。つまり、ある程度の補修ができる教職員の存在が必要である。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	3	部課局名	学校教育課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	フューチャースクール推進事業(中学校)		
事業の目的	<p>本事業では、無線LAN環境を整備することにより、高速情報回線に接続できる環境を整えるほか、持ち運び可能なタブレット型PCをPC教室のPCとして計画的に導入することにより、学校教育活動全般においてICTの活用を容易にし、学習活動の様々な場面でPCを効果的に活用し、生徒の主体性や関心・意欲、知識・理解を高める。</p>		
事業概要	<p>普通教室でICTを活用出来る環境を構築することで、21世紀にふさわしい教育環境を整え、生徒の主体的に学習する「新たな学び」の実現を図る。</p> <p>(事業内容) 既存PC教室に設置されている、学校サーバー、プリンター、複合型スキャナ等の基本機能は現状と同じく整備する。 既存PC教室に設置されているPCを、キーボード脱着式タブレット型PCに変更し、各普通教室でタブレット型PCが活用できるよう、学校全体で無線LANが使える環境を整備する。普通教室等において授業に活用できる授業支援ソフト(ICT支援員付)を導入することで、導入後に教員がICTを授業に有効に活用できる環境を構築する。 導入については、現在のPC教室のリース契約が終了する学校から順次導入していき、契約は5年間のリース契約とする。</p>		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止			
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】ICTは社会の中で不可欠なツールとなっており、この利活用によって学科に対する関心、興味を持たせることができ意欲も向上するものと判断される。特に中学においてはレベルの高い課題へ挑戦する契機としても期待でき、より「拡充」すべきものと考えます。</p> <p>B委員:【拡充】教育環境を整えることは重要です。ペーパーレス時代の到来もまもなくのことでしょう。地方交付税不交付団体市町村の教育設備は、異次元の世界です。一歩でもそれに近づきたいものです。是非拡充すべきです。</p> <p>C委員:【拡充】小学校と同様に、中学校のいかなる場所においてもコンピューター等が使用できる環境を整えることは、子どもたちの情報処理・活用能力の育成上必要なことである。</p>	
	主な意見	<p>A委員:生徒の中には、より高度な技術を求める者も出る可能性があり、教職員(指導者)のレベル向上も求められる。さらに、ICT利用に際しての倫理観の醸成も必要と考えます。</p> <p>B委員:教育環境整備とともに、コミュニケーションの充実強化も図るべきです。子どもたちはもちろんのこと、教員同士の情報共有強化も喫緊の課題です。</p> <p>C委員:ICT機器の使用によってリアリティのある授業展開を図ることができ、より魅力的な授業・学習が展開されると予想される。教科別の授業だけでなく、「キャリア教育」を行う上でも効果が期待できる。また、一方で、指導側の能力を高めていく必要がある。そのために、教職員対象とした研修の強化を望みたい。その場合に、使用機器の保守管理の能力を高めてほしい。つまり、ある程度の補修ができる教職員の存在が必要である。さらに、生徒の情報活用での「倫理」も育成してほしい。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	4	部課局名	学校教育課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	西ノ内和紙PR事業(小中学校卒業証書)		
事業の目的	市内の児童生徒の卒業証書に西ノ内和紙を使用することで、伝統や技術、和紙製品の理解を深める。		
事業概要	郷土品を広く周知し、愛用することができる。 (事業内容) 各小中学校に予算計上し、業者と打合せをし作成する。		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】当市の誇る西ノ内和紙を通じ、郷土の伝統技術に対する理解を深めることは、より広く郷土を知ろうという契機となることが期待でき「郷育立市」につながるものと考えられ、継続して頂きたい。</p> <p>B委員:【現行どおり】郷土教育の一環として、地域の伝統行事、伝統産業を学び、先人たちの苦勞の元に現在の自分たちが生きていることを実感させることは、とても重要です。小中学校の卒業証書に西ノ内和紙を用い、地元の伝統産業を学ぶ、とても素晴らしい取り組みです。長く継続していただきたいです。</p> <p>C委員:【現行どおり】西ノ内和紙は地域の文化財の一つであり、それを卒業証書に使用することは地域住民であった証の一つとなる。小中学生の地域への理解や愛着を育むためのものとして活用できる。</p>	
	主な意見	<p>A委員:西ノ内和紙に関連する、原材料、製法、用途、歴史等、興味深い話題が提供できることから、教職員の皆様には幅広い知見を持たれ指導に当たって頂きたい。</p> <p>B委員:常陸大宮市郷育読本を教室の中で学ぶだけではなく、学年・学級単位で歩いて見て回ることが重要です。副読本だけで学んだことはすぐ忘れてしまいますが、しんどい思いをして歩いて見て回ったことは、一生の思い出、財産になります。年間指導計画の中に位置づけていただきたいと思います。</p> <p>C委員:小・中学生が西ノ内和紙の伝統や技術を学ぶ機会を増やし、西ノ内和紙の技術の一部を習得しながら自分たちで作った和紙を卒業証書として使用できるようになるとよいのではないかと考えます。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	5	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	家庭教育学級事業		
事業の目的	家庭教育の重要性を認識してもらうため、幼稚園、小学生、中学生を持つ親を対象に家庭教育学級を開設する。		
事業概要	<p>各学校の家庭教育学級が、創意工夫により有意義な学習ができるようにする。</p> <p>(事業内容) 家庭教育学級実行委員会補助金を交付し、幼、小、中学校単位で年3回以上の活動と全体研究発表を実施し、各学校の成果等を情報交換する。全体での会合の際に研修を実施。 各学校、園での家庭教育学級活動の中に、必ず人権に関わる内容を扱うこととしている。(1回)</p>		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】家庭教育の重要性は認識されているものの、多くの保護者や家族がその方策を理解していないと考えられ、より一層注力すべき事業で、拡充すべきものと判断します。</p> <p>B委員:【現行どおり】政府までもが、家庭教育に口出しする時代です。その重要性は誰もが認めているところです。継続的に充実した内容にしていく必要があります。</p> <p>C委員:【拡充】情報交換のための費用だけでなく、活動自体を盛んにしてほしいと考えます。</p>	
	主な意見	<p>A委員:保護者が興味をもって参加できるよう、学校、家庭、地域が連携して効果的な内容を作り上げて頂きたい。</p> <p>B委員:家庭教育学級に参加する保護者は、まず問題がないと思います。常に参加しない保護者に問題がある場合があります。家庭訪問、福祉との連携強化など、適切な対応が求められます。</p> <p>C委員:教育行政が直接家庭教育に介入するべきでないことは承知しています。しかしながら、単に補助金の交付だけに止めるのではなく、より積極的にいわゆる「両親教育」に取り組んで欲しいと考えます。例えば、「いじめ」の問題等は親と学校との連携が必要と考えられます。そのためには、家庭教育学級への学校教職員の参加も必要で効果的であると考えます。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	6	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	学校体育施設開放運営事業		
事業の目的	市民の体力づくりとスポーツ・レクリエーション活動の推進のため、市内の小・中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放することを目的とする。		
事業概要	<p>市民がスポーツをすることにより、健康づくりとコミュニティづくりを推進する。</p> <p>(事業内容) 常陸大宮市内小・中・高等学校の開放事業を行う。 ・学校体育施設使用登録申請書の受理・使用許可証の交付 ・団体への鍵の貸与及び日誌の集計 ・管理員による開放施設の管理 ・管理員への施設管理謝礼の支払</p>		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】健康づくり, 体力づくり, レクリエーション活動に施設を提供することは, コミュニティづくりに大きく寄与するものと判断され, 継続して実施して頂きたい。</p> <p>B委員:【現行どおり】現行では, 学校体育施設の開放は必要なことです。多くの社会教育・体育施設は使用料・加算金を徴収しております。受益者負担の観点から検討する必要があると思います。</p> <p>C委員:【現行どおり】市民のスポーツ活動を「学社連携」で支えることは重要なことだと考えます。それは, スポーツ基本法の基本理念の実現化につながります。</p>	
	主な意見	<p>A委員:限られた施設を多くの団体が有効に活用できるよう, 利用スケジュールの管理など工夫して頂きたい。</p> <p>B委員:茨城県県立学校体育施設開放事業運営要領で光熱水費は県教委が負担する, と定められています。この現状では, 単独市町村で光熱水費加算金を徴収することは不可能だと思いますが, 全県的に問題提起して, 有償化すべきと考えます。</p> <p>C委員:使用申し込みを単純化, 例えば, インターネット化する必要性があり, また, 利用者の固定化を解消する方法も考える必要性があると思います。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	7	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	文化財保護事業		
事業の目的	文化財で重要なものについてその保存及び活用のために必要な措置を講じ、埋蔵文化財については必要に応じて試掘調査を行うなど、市内の文化財を将来に伝えていくために必要な取り組みを行っていく。		
事業概要	市内に所在する文化財のうち重要なものについて、常陸大宮市文化財保護条例に基づき指定し、文化財を保護する。 重要な文化財の調査審議するための専門委員や文化財保護審議会を設置する。 文化財の管理又は修理に関する事業に予算の範囲内で補助金を交付する。埋蔵文化財については、必要に応じて試掘調査などを行う。		
内部評価結果	① 総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止			
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】貴重な文化財をきちんと調査、保護し後世につないでいくことは、現代に生きる我々の責務であることから、国、県と連携して継続して頂きたい。</p> <p>B委員:【現行どおり】文化財保護法のあるなしにかかわらず、貴重な文化遺産や先人の暮らしを伝える物品等も子孫に伝えていく必要があります。東日本大震災の震災遺構も、少数ですが保存が決定しております。地味な事業ですが、継続的に教育委員会で実施していただきたいと思ひます。</p> <p>C委員:【拡充】「郷育立市」を目指すためにも拡充する必要性がある事業と考えます。会議費用だけでなく、文化財保護の内容を検討してほしい。</p>	
	主な意見	<p>A委員:郷土の文化財に、多くの市民が興味を持ち、子供たちに伝えることができるよう周知、啓発を行って頂きたい。</p> <p>B委員:旧真壁町のように、登録文化財の指定を継続的に進めているところもあります。重要文化財だけではなく、有形・無形、暮らしの歴史など、地道に継続的に、保存・公開に努めていただきたいと思ひます。</p> <p>C委員:地域の文化財を保護するだけでなく、その活用を考える時期に来ていると考えます。その一つの方策が「まち全体の博物館」化の動きだと思ひます。それぞれの文化財を単独で存在させるのではなく、相互に関係づけて文化的側面から地域の振興を図るための手段として活用できると考えます。また、発掘調査も業者だけに任せるのではなく、地域住民のボランティア活動の一環と位置付けることで、子どもから大人までの生涯学習の機会とすることができると考えます。ぜひ、検討して頂きたいと思ひます。</p>	

平成28年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	8	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成27年度
事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業(図書情報館)		
事業の目的	市内の学校・社会教育施設(公民館等)・教育文化団体(子供会等)に対し、視聴覚機材(プロジェクター・スクリーンなど)や教材(ビデオ・DVDなど)を無料で貸出し、常陸大宮市の視聴覚教育の普及を図る。		
事業概要	<p>学校及び社会教育施設などの団体に対し、積極的に視聴覚機材・教材を供給し、その利用促進を図る。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚資料(DVD・ビデオテープ等)を計画的に購入し、資料及び機材を整備・管理する。 ・利用を促進するため、ライブラリー事業について、市民に広くPRする。 ・職員及び運営委員に対し、視聴覚機材の操作(方法)の研修を実施する。 ・常陸大宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の開催(年2回) 		
内部評価結果	①総合評価		
	<input checked="" type="radio"/> A必要性・効果は高い <input type="radio"/> B必要性・効果はある <input type="radio"/> C必要性・効果は無い		
点検評価結果	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】視聴覚教育は、受ける者に興味、関心を引き付けることができ効果的であることから、継続して実施すべきものと考えます。</p> <p>B委員:【現行どおり】視聴覚教材等の充実、財政的な制約はありますが、積極的に進めていただきたいと思います。各小中学校が単独で整備することは効率的ではないので、教育委員会として、学校のニーズに対応した作品の整備をはかっていたいただきたいと思います。</p> <p>C委員:【現行どおり】「学社連携」の一つの手段として重要な役割を担っています。地域住民の学習資料の提供事業として今後も継続してほしいと考えます。</p>	
	主な意見	<p>A委員:所蔵するライブラリーの中で、特に常陸大宮市地域に関するものは、よく整理し保存すべきものと考えます。中でも経年劣化のおそれのあるものについては、早期にデジタル媒体に保存するなど対策を講じていただきたいと思います。また、市民、団体に対しライブラリーの内容など周知を図り利活用を促進すべきと考えます。</p> <p>B委員:公共図書館の充実、都会以上に郡部で求められております。少なくとも、地方交付税算入額ぐらいは、予算化する必要があります。学校図書室と公共図書館の連携を図り、住民ニーズに配慮した図書館行政の充実に努めてください。</p> <p>C委員:著作権に配慮しながら視聴覚資料の住民利用をより拡大してほしいと考えます。ライブラリー・リストの公表や保存の現代化を図ってほしい。市独自で収集した資料等は早期にDVD化する必要性があると考えます。そして、それにより住民の利用の促進が図れると思います。</p>	

平成28年度 常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（平成27年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 望月 厚志

1 教育委員会の活動状況

教育委員の状況，教育委員会会議の開催状況，教育委員会協議事項，教育委員会報告事項，教育委員会会議以外の活動状況ともに問題点なく，適正に執行及び活動されていると判断します。

新しい教育委員会の体制のもとで，これまで以上の成果を上げることを希望しております。

2 教育委員会が管理・執行する事務

関係法律・規程に基づき，適正に行われてきていると判断します。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

関係法律・規程に基づき，適正に行われてきていると判断します。

平成28年度 常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（平成27年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 新家 洋一

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議，協議，報告等おおむね適正に執行されております。

総合教育会議では，公開の場で直接市長に提言できますので，特に教育費の充実に積極的な発言をお願いします。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会執行事務については，おおむね適正に執行されております。

最近，いじめへの学校の対応が問題になってきております。子どもの命に関わる問題ですので，教育委員会として，最優先課題として取り組んでいただきたいと思っております。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育長委任事務については，おおむね適正に執行されております。

教育大綱の基本理念，基本方針の着実な実施が図られるよう，教育長以下教育委員会事務局職員の皆様のご健闘を期待します。

平成28年度 常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（平成27年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 武藤 賢治

1 教育委員会の活動状況

教育委員の状況、教育委員会会議の開催状況、協議、報告事項、教育委員会会議以外の活動状況、さらに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により設置された「総合教育会議」の開催状況は適正に執行、活動されております。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会執行事務については、適正に執行されております。

常陸大宮市は、まちづくりの基本理念の根幹として「郷育立市」を掲げております。教育委員会、市長部局、学校、地域がさらに連携を深めその実現に邁進して頂きたい。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育長委任事務については、適正に執行されております。